

福利厚生委員会だより

■ 子育て支援 令和3年度 放課後児童クラブ世代間交流事業のようす

期 間 令和3年7月27日（火）～8月19日（木）
 支援箇所 精華町内7施設放課後児童クラブ
 参加児童数 394名
 指導員数 36名
 支援会員 延べ28名

今年の夏はコロナ禍の中、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されました。当初の心配が現実になり、国内の新型コロナウイルス感染者数は過去最多の20,000人越えとなりました。事業実施にあたっては新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策（三密回避）の徹底を図り、加えて検温、消毒、マスク着用等支援会員も神経をつかいました。どの施設もシルバーさんは大人気でした。

【ふわふわロケット】

ロケット型のビニルの両端をゴムで止め、その中に空気を入れる簡単なつくりのロケット工作です。

ビニルは1メートルもの長さです。その白地のビニルに児童たちは物語を書くようにオリジナルの絵を描きました。外は大雨でしたが空き教室でそれぞれの夢を乗せて飛ばしていました。簡単な工作でしたがたいへん奥深い工作となりました。



【エコバックづくり】

はやる気持ちを静め先生会員の説明を熱心に聞いていました。「好きなものをなんでも描いていいよ。」の言葉に目がキラキラと輝き、楽しそうに描いているのが印象的でした。町のどこかで自前のエコバックを持った児童たちに会えるのを楽しみに教室をあとにしました。



【うちわづくり】

立体うちわの完成をめざしていろいろと飾りをつけました。シールやポンポン、キラキラの装飾品をボンドでつけてオリジナルうちわの完成。

「はい！ ポーズ」。先生の協力で集合写真が撮れました。



【風鈴づくり】

風鈴本体の部分は曲線なので、絵を描いたり色を塗ったりするのが少しむずかしそうでしたが、子どもらしいデザインですてきな風鈴ができあがりました。



【万華鏡づくり】

低学年には少々むずかしい万華鏡でしたが自分なりに工夫してスパンコールに千代紙をプラスしてと、個性豊かな仕上がりになりました。

